

■トラック1

ふう。運転お疲れ様です。

んんうー、はあ……。空気が美味しいですねえ。

なんだか、キャンプに来たみたい。

すう、はあ……。

たまには、こうして自然に触れるのも、リラックスできていいですね……。

一応、キャンプも旅行の候補にはあつたんですけど……。

テントの組み立てや、道具の準備、後片付けも自分たちでしたりと、

疲れてしまう場面も多くありそうで……。

今回の旅行は、大変なこと抜き、自然と癒しをコンセプトにしてみたんです。

なので、グランピング、になるんでしょうか。

イメージ的には、豪華なキャンプ、ですね。

泊まるどころも、テントではなくて、立派なコテージなんですよ。

確か、駐車場から歩いて、すぐ近くのようなですね。

ほら、あそこに看板もありますよ。

……ふう、お誘いしたのは私ですから。下調べはばっちりです。

さ、こちらですよ。

……ん。

……あ。その……手、繋ぎたいなって。

……だめ、ですか？

普段は、人の目もあって、恥ずかしいですけど……。

森の中なら、誰も見ていませんし……。

……あ。ふふ、ありがとうございます。

あなたの手、大きくて、あったかい……。

ああ……。夫婦のスキンシップも、旅行の醍醐味ですよ。ふふ。

さ、自然を眺めながら、ゆったり歩きましょうか。

……ふふ♪ぎゅーう。

……大丈夫ですよ。

コテージは貸し切りですから。私たち以外、だーれもいないんです。

だから、ちょっとくらいその……

夫婦らしい振る舞いをして、問題ないかと。

…………。あう……。

その、こうして手を繋いでいると、付き合い始めた頃を思い出してしまつて……。

こんな感じで、初々しかったなあつて……。

今の私たち、まるで…恋人みたい、ですね。もう夫婦なのに。

…ふふ。ドキドキしてくれて、嬉しいです。

…あ、もう見えてきましたね。

わあ…これがコテージ。ちょっとした別荘みたいですね。

早速、中に入ってみましょうか。

…ん、木の匂い…。落ち着きますね…。

中は、ソファにテーブル…キッチンも。…へえ、色々揃っているんですね。

奥のお部屋は、寝室でしょうか。

…あら、これは…ん、しょ。

ふふ、ダブルサイズのベッドなんですね。

ほら、あなたも座ってみてください。

……どうですか？ ふかふかで、心地いいですねえ。

のんびりくつろげそうですね…一人では持て余してしまいそう。ふふ。

試しに、少し横になってみます…？

……なんて。気が早かったですね。もちろん冗談です。

ベッドでくつろぐなんて、お家でもできることですし。

まずは荷物を置いて…。

あ、そうだ。せっくなので、ウッドデッキにも行ってみましょうか。

そこに大きめのハンモックがあるので、

自然を感じながら、ゆったりできますよ。

ここまでの運転疲れもあるでしょうし……

少し休まれてはどうですか？

私も、あなたとのんびりしたいので……。

……ふふ、決まり、ですね。

……ああ。なんだか、もう満たされた気分です……。

その、こんなにも素敵な場所で、あなたと二人っきりって考えたら……

すごく、幸せだなあって。

……ねえ、あなた。

一泊二日の小旅行ですけど。普段お家にいる時より、まったりと……。

そして、いつもよりも、特別な時間にできるといいですね……？

■トラック2

……ふふ。ハンモック、気に入ったんですか？

……だって、先ほどから、ずっとそこで読書しているじゃないですか。

時間を気にせず、自由に過ごそうとは言いましたけど……

一人ぼっちは寂しいです。

……あ、いえ、あなたはそのままでもいいですよ。

ただ、お邪魔でなければ……私も、ご一緒できたらな、と……。

見たところ、ファミリータイプのハンモックのようですので、

私が入っても大丈夫ですよね……？

……ふふ。では、失礼して……ん、しよ。

わ……やっぱり、少し揺れちゃいますね。

……でも、あなたが側にいるから、安心です。

……ん。揺れが小さくなるまで、

掴まっけていても、いいでしょうか……？

……ふふ、ありがとうございます。

……。

二人ですと、どうしても肩が触れ合ってしまうですね……。

下りた方が、いいかな……。

……え。いいんですか？

私がいたら、窮屈になってしまつて……。

あなたが、リラックスできないんじゃないかって…。

もし、無理をしているのなら、我慢しないでくださいね？

この旅行が負担になつてしまうのは、違ふと思うので……。

……あ。そう、なんですか？

……い、いえ、私も、全然大丈夫といえますか……。

むしろ、このままが、いいです…。

家の中だと、ソファも広くて…ベッドもそれぞれがありますから。

こんなにくっ付くこと、ないじゃないですか…。

もちろん、くっ付きたい時は、そうしますけど……。

こんなふうに、自然に近づけるのって、いいな…って。

その、こうしていると、心が落ち着くんです……。

……はあ、良かった。両想いでしたね。

……ん、ふう…。

広くて、ゆとりのある場所もいいですけど……。

少し寂しさも感じてしまうので…。

あなたの隣が一番です……。

……ああ。旅行って、

いつもより、大胆なことを言ってしまうね…。

恥ずかしいです…。

……………。あたたかい…。

まだ夕食前の時間なのに……森の中はもう薄暗いんですねえ。

ここにはビルの明かりも、街灯もありませんから……。

星も、いつもより明るく見えますね…。

はあ……綺麗。

こういうところに住むのも、憧れちゃいますねえ…。

まあ、あまり現実的ではありませんけど…。

だからこそ、旅行で行ってみたいなあって。

……ああ、はい。実は、少し前から考えていました。

ほら、前の温泉旅行は、あなたが予定を立ててくれたじゃないですか。

だから、今度は私が……って、思っていたんです。

それで、自然を感じられて、まったくできる…グランピングがいいかなと。

……あ、ここは、漫画の資料で一度調べたことがありますて。

見ているうちに、あなたと来れたら素敵だって…。

なので、夢が叶って、本当に良かったです…。

……。

…あなた？手が止まっていますよ？本、読まないんですか？

…そんな、気にしないでください。

実は、私も本を持って来てるので。

……え。意外ですか？

まあ、漫画の方が多く嗜んでいますけど……

旅行のお供にするなら、小説かなって。

ほう、本を読んでいると、時間がゆっくり流れる気がして…。

良かったら、ご一緒してもいいですか？

……ふふ、ありがとうございます。

こうして…まったりするのも、いいですね。

……。

あ、私の本は……恋愛小説、ですね。

ちょっと恥ずかしいんですけど、学園モノの作品で…。

主人公の女の子が、漫画を描いてまして…。

あまり目立たないほうなんですけど、

文化祭の準備で、男の子が声をかけてきて…みたいな。

読んでいると、自分も学生の頃に戻ったような気分になれて、

懐かしくなっちゃうんですね…。

それで……ふふ。この本を読むと、つい考えてしまうことがあります。

もし、あなたと学生の頃に出会っていたら、

とっても楽しかっただろうなあって。

授業中に、こっそりメールを送り合ったり。

制服を着たまま、ショッピングモールで放課後デートとか…。

やりたいこと、いっぱい思い浮かんでしまつて……。

なんだか照れくさいですね…。

……あ、でも、制服姿のあなた、見てみたかったかも。ふふ。

……え？ 私は…そのう。今でも、似合うでしょうか…？

……うう、…。そこまで言うんですたら…着ていても…。

まあ、資料用の制服ですけど…。

もう、また今度ですよ？

……あなた？ 何か想像していませんか？

読書、忘れていますよ？

……………。

そういえば、この後はどうします？

何か、したいこととか。

……でしたら、お風呂はいかがでしょう？

……、露天風呂があるんですよ。

夕食の後だと、外が真っ暗になってしまうので、

今のうちにどうでしょう？

……はい、それがいいと思います。

少し肌寒くなってきましたし……。

後ほど、私も一緒にしますね。

……ふふ。もちろん、混浴ですよ。

日頃の疲れを洗い流せるよう、

お手伝いさせていただきますので……。

久しぶりの一緒のお風呂、

楽しみにしていただけると……嬉しいです。ふふ。

■トラック3

すみません、少し着替えに時間が……。

あら、もう体を洗っていたんですか？

私がしてあげたかったのに……。

あ、でも、お背中はまだみたいですわね。

……ん？ ああ、この格好ですか？

ふふ、新しい水着です……っ♪

もちろん、タオルを巻いても良かったんですけど……

それだと、お互い落ち着かない感じになってしまうかなと思ひまして。

……ふふ、似合っていますか？

……気に入っていただけたようで、良かったです。

その、黒の水着なんて、大胆すぎるかなって、

ちょっとドキドキしていたので……。

……ええ、そ、そこまでセクシーでしょうか……。

レースの透け感とかは、少し大人っぽいですけど……。

もう、少し見すぎですよ？

直接は……その、照れてしまいますので。

鏡越しで、こっそり……お願いしますね。ふふ。

……あなた？ あんまり見つめていると、目が合っちゃいますよ。

……ほーら。

……あ、また。

そんなに似合っていますか？

……ふふ、褒めるのがお手なんですから。

さ、お背中を流していきますね。

ボディタオルを泡立てますので、少々お待ちを…。

……うん。それでは、失礼して…。

……ん。ごじごじ、ごじごじ…。

ん、ふう……。こうしてお背中を流してあげるの、久しぶりですねえ。

……本当は、普段からしてあげたいんですよ？

あなたのお世話をするの、大好きなんですから。

ん、ふう……。ん…。

……ただ、毎日一緒に、というのも、難しいですね。

お互いに気を遣ったり、時間が合わないこともあるので…。

ただ、疲れて甘えなくなったり…

癒しがほしいなっと思う時は、遠慮せずに頼ってくださいね？

……ふふ、そんなの当たり前じゃないですか。

私は、あなたの妻なんですよ？

大好きな人を癒したい、お役に立ちたいと…いつも思っています。

ですから、こうしてあなたと旅行して…。

普段できないことをしてあげられて、本当に幸せです。

ん、ふう……ん……。

……ふう。あなたの背中、広くてがっしりしていて……嬉しいですね……。

久々だから、でしょうか……。なんだか、ドキドキしてしまいます……。

ん、ふう……ん……。

ただ、肩の辺りとか……少し硬く強張っているような……。

もしかして、凝ったりしています…？

……でしたら、軽くマッサージをしてもいいかもしれませんね。

……あ、今じゃなくて、お風呂上りにして差し上げますね……。

その方が、全身の筋肉がほぐれて、マッサージの効果が高まりますので……。

ん、ふう……。じじい……じじい……。

……。

ふう。それでは、お背中を流しますね。

……はい、綺麗になりましたよ。

次は、頭ですね。

髪の毛も、しっかり濡らしていきますよ…。

……あ。シャンプーは、備え付けのものではなくて……

お家から持ってきたものがありました。

この、スプレータイプの炭酸シャンプーです。

普段使っているものではないんですけど……

とってもすっきりするので、どうかなあと。

私も一度使ってみたんですけど、

しゅわしゅわって、泡が頭皮に馴染んで、とっても気持ち良かったです。

ぜひ、あなたにもと思いまして……いかがですか？

……ふふ、ありがとうございます。

では、早速シャンプーしていきますねえ……。

まず、手のひらに泡を出して……。

頭に馴染ませていきますよ……。

しゅわ、しゅわ……しゅわしゅわ……。

炭酸シャンプーの洗い心地……どうですか？

だんだん、じんわりと……細かな泡が頭皮に染み渡っていき……。

ぱちぱち、しゅわしゅわあ……って、頭が涼しくなるんです。

こう見えて、洗浄力はやや控えめの、マイルドなタイプなので……。

刺激に弱くても、安心してお使いいただけるんですよ…。

ん……しゅわしゅわ、しゅわしゅわ……。

ふふ、気持ちいいでしょう？

ヘアサロンで試してみて、とっても気に入ったので、ぜひあなたにもと…。

ただ、言い出すきっかけに困ってしまつて……。

ちょうど旅行の予定があつて良かったです。

……。

あ、そういえば、痒いところはございませんか…？ ふふ。

お店でよく言われますよねえ。

ただ、痒いところがあつても、なんて伝えればいいのか、難しくて…

つい遠慮しちゃうんです。

洗い残しがないように、しっかりシャンプーしていきますねえ。

ん、しよ……。泡を馴染ませるように……ん。

じゅじゅ……じゅじゅ……じゅじゅ……。

頭頂部から、襟足……。ん、ふう……。

お耳の近くも……ふう。

泡立つ音、心地いいですか？

……ふう、もっとしてあげますね。

しゅわしゅわ、しゅわしゅわ……。

ふう……。そろそろ、流しちゃいましょうか。

……ふう、名残惜しいですか？

髪を洗った後は、露天風呂もあるんですよ。

……もう、しょうがないですねえ。

少しだけ、ですよ。

……ん、しゅわ、しゅわ。しゅわ、しゅわ……。

私の手、そんなに心地いいんですか？

……えー？ そんな、さすがに本職の方には負けちゃいますよ……。

………。

あ、でも……一つだけ勝っているところがあるとしたら……ふう。

あなたへの、愛情……ですね。

あなたのために想って、あなたのためだけに……愛を込める。

この心からの気持ちだけは、あなたの妻として、

誰にも負けるつもりはありません。

私の愛情、伝わっていたら嬉しいですよ……。

ん、ふう……。ん……。ふう、ありがとうございます。

………。

ん、ふう……。うん、そろそろ流しますね。

泡が入るとしみちゃうので、目は閉じていてくださいねえ。

……じゃあ、流しますよ。

ん……。ふう……。洗い残がないように、しっかりすいでいきますので。

洗い終わるまで、まだ目は閉じたままですよ……。

……。ふう。はい、これでおしまいです。

洗い流すと、頭がすーすーして、気持ちいいでしょう……？

特に、夏場にはびったりなんですよ。

あとは、眠気を覚ましたい時や、すっきりしたい時とか……。

気分によって使い分けるのも良さそうですね。

気に入ったのでしたら、この炭酸シャンプーも、

普段使いのスペースに置いておきましょうか。

……。ふう、私とお揃いですね。

……。さ、そろそろお風呂であつたまりましょう。

こちらですよ。

この向こうが、露天風呂のはず……。

ん、ふう……。はあ。あつたかい……。

ほう、あなたも。

肩までゆっくり浸かると、気持ちいいですよ。

んう、はあ……。自然を眺めながらのお風呂、癒されますねえ……。

少し熱めのお湯に、夜風が涼しくて……。ああ。落ち着きます……。

……………。

日頃の疲れが、お湯に溶けていくようですね……。

あなたも、普段のお仕事で、大変でしょう？

今日も運転まで任せてしまつて……。ここまで長旅でしたもんね……。

ゆっくりと浸かつて、体の疲れを追い出しちゃいましょう。

ん、んんうう、はああ……。

あ、すみません……つい。

でも、思い切り伸びをすると、筋肉がほぐれて、よりリラックスできるんですよ。

さ、あなたも一緒に。

んっ……んんうう、はああ……。ふう……。

気持ちいい……。

……………。

あの、あなた。せっかくなので、隣に座ってもいいですか？

……って言いながら、もう座っちゃってるんですけどね。

だって、ダメ……なんて、意地悪なこと、言わないでしょう？

……ふふ。お家のお風呂だと、こうして隣に座れませんから…。

……ん。こうして肩を寄せ合うと、もっとあったまれますよ…。

………。

ああ……幸せ。

……あなた。

……ん。手、繋いでいいですか。

私にとっての一番の癒しは、あなたのぬくもりですから…。…ね？

……ん。あなたから、ぎゅって…嬉しい。

私からも、ぎゅーう。ふふ。

このまま、もうしばらく、浸かっていますか。

………。

ふう…。あなたの体温が、お湯と溶け合って……全身、ぽかぽかします…♪

はあ……。あなたと一緒に来れて、良かったあ…。

………。

■トラック4

ふう。あつたまりましたねえ。

……あ。その、湯上りなので、薄手の部屋着をと思ひまして。

やっぱり、大胆すぎたでしょうか…？

……ああ、そう言つていただけると、ほつとします。

久々の旅行でしたから、つい浮かれてしまつて……。

お店で見た時は、大人っぽくていいなあつて思つていたんですけど…。

実際に着てみると、正直攻めすぎたかもつて、少し後悔していたり…。

でも、あなたに喜んでいただけて、良かったです。

……ただ、その……うう。私より、あなたのことを……。あ、そうでした。

湯上りのマッサージはいかがですか？

ほう、お風呂で、肩が凝つてゐるってお話、しましたよね？

お風呂上がりで、ちょうど体が温まつているので、

マッサージをするにはぴつたりかと。

……ふう、はい、もちろん用意していますよ。

あなたの大好きな、オイルマッサージ。ちよつと期待してました？

……ありがとうございます♪

それでは、寢室に行きましょうか。

もちろん、座ったままでもできますけど、

なるべくしっかりと、横になれる場所でおこないたいのです。

さ、こちらへどうぞ。

……はい、仰向けのままで大丈夫ですよ。

横になることで、体の筋肉が自然と緩み、

リラックス状態に入りやすくなるんです。

このままでも、充分マッサージの効果が期待できますけど……

あなたには、より癒されていただきたいので。

こちらのホットタオルを、お顔に……。

……ん。温度はちょうどいいですか？

先ほど、お風呂で温めておいたので、熱すぎることはないと思いますけど……。

ふふ、良かったです。レンジで温めると、

熱しすぎてしまうことがあるので。

お湯でじんわりと…人肌よりやや暖かい、40〜50℃くらいが理想ですね。

……どうでしょう。よりリラックスしてきましたか？

……では、そろそろマッサージの方を始めますね。

香りは、私好みの柑橘系…

ベルガモットの精油を混ぜて作った、

特製のアロマオイルを使います。

まずは、手のひらに馴染ませてから……肩、首回りをほぐしていきますね。

……ん、どうですか？ 人肌に温めているので、ひんやりしないでしょう？

ん、ん……やっぱり、凝っていますね。

自分では気づかなくても、疲れが溜まっていることって、

けっこうあるんですよ……。

ん、ふう………。ふう……。爽やかな香り、しますか？

……とっても癒されますよねえ。

柑橘系なのに、ほのかな甘さと、どこか上品な香りも……。

オレンジよりかは、大人向けですよね……ふう。

………。

ふう……。

肩の次は、首元……。

特にデコルテ周りは、リンパが滞りやすいところなんですよ……。

ただ、繊細な箇所でもあるので……強く押ししたりはせず……

指先で、優しく……トントントンって、刺激していきますね。

トントントン、トントントン……トントントン、トントントン……。

……ふう、意外と気持ちいいでしょう？

ソフトタッピングは、指圧のように、

筋肉や、その奥のコリには効きづらいんですけど……。

優しい刺激で血行を良くしたり、

リラックス効果をより高めることができます。

特に、眠れない日なんかは、ソフトタッピングがおすすめですよ…。

一定の刺激で、トントン…トントン…って。不思議と、安心しますよね…。

……。

ふう…。タオルを首元にずらしますね…。

今度は、お顔回りもトントンしますので。

……ん、トントン……トントン……トントン。

特に、デリケートな目元も……優しく、トントン。

体だけでなく、目も疲れやすいですからね…。

こうして、労わってあげなくちゃ……。

トントン、トントン……。

……。

ん、ふう……。ん……。

……あ、気づきました？

次は、お耳の周り、ですよ。

ここは、トントンするよりも、軽く引つ張ったり、

指先でつまんで、もみほぐした方が気持ちいいですよねえ。

ん、はあ……ん……ふふ。くすぐったかったですか？

お耳、弱いでもんねえ。

ん、ふう……。ふふ、そんなに恥ずかしがらなくてもいいじゃないですか。

……実は、お耳って、たくさんツボがあるんですよ。

特に、全身に繋がるようなツボは、

足の裏よりも多たって聞きますから……。

反応しちゃっても、いいですよ……。

お耳の弱いあなたも、大好きですし……。

ちょっぴり、可愛いつて…思っちゃいます…♪

……もちろん誉め言葉ですよ？

男性に可愛いは、どうかなって思う人もいるかもしれませんが……

私は、アリですね。

……ふふ。大丈夫です。私しか、見ていませんから。

私の前だけで、あなたの可愛い反応、見せてくださいね…。

……。

ふう……。そろそろ、後ろもマッサージしましょうか。

今度は、体勢をうつ伏せに……。

……はい、ありがとうございます。

……あ。今回は、背中もマッサージしたいので、

浴衣を…その、少し緩めてもよろしいでしょうか？

……では、失礼しますね…。

ん、しょ……。

……あ、えっと。お風呂では、当たり前でしたけど……。

着ていたものをはだけるのは、また違った感じが…。

じい……。

……はっ。い、いえいえ、なんでもないですよ？

えっと、首回りからマッサージしていきますね……。

ん、ん……ん。

あ、少しオイルを足しますね…。

ん、ふう……。

……ふう。

では、失礼します……。

ん、ん……。

マッサージも、ある程度は自分でできるとはいえ……

お背中は、難しいですからね。

疲れが溜まった時や、リフレッシュしたい時は、

遠慮なく声を掛けてくださいね。

お家でも、オイルマッサージはできますから……。ん、ん……。ふう。

……。え？ そんな、負担だなんて。

私、お世話するの、大好きなんですよ？

特に、マッサージは、直接あなたを癒すことができるので……。

むしろ、施術する方も癒されるといいますか……。

とにかく、私は全然気にしませんので。

今後とも、あなたのお役に立てれば嬉しいです……。

ん、ふう……。ん、ん……。

首から背中にかけても、ソフトタッピング、していきますね……。

トントン、トントン……。

ふう、少しゾクゾクしますか？

だんだん、馴染んでいきますからね……。

トントン、トントン……。トントン、トントン……。

……。

ん、ふう……。

そういえば、最近、耳かきはしましたか？

……でしたら、マッサージの後にいかがでしょう？

……もう、遠慮はなしですよ？

あなたに癒されてほしくて、この旅行を計画したんですから。

それに、お風呂上りは、垢が取れやすくなっていると思うので……。

するなら、今がぴったりかと。

ちようどお耳のマッサージもしていることですし……ん、はあ。

この中も、カリカリって刺激されたら……

とっても気持ち良くなれると思いますよ？

……ふふ。では、この後にして差し上げますね。

ん、はあ……。ん、ふう……。ん、ん……。

お耳も、だいぶほぐれてきましたよ。

……。

ふう……。そろそろ、お終いにしましょうか。

それとも、もう少し……続けますか？

……ふふ。トントンって、気に入っていただけたんですね。

ソフトタッピング、けっこう癖になっちゃいますよ……。

眠る前にしてほしくて……うずうずしちゃったり。

……その時は、私に任せてくださいね。

あなたの望むことでしたら、いつでも、してあげますから。

ふう……。

これでマッサージはお終いです。

ふう、少し残念そうですね…。

でも、次はお待ちかねの耳かきですよ。

始める前に、新しいホットタオルでお耳を温めながら、

オイルを拭き取りますね…。

ふう……。

このままで、少々お待ちください……。

■トラック5

お待たせしました。

……あら。もしかして、軽く寝ていましたか？

……ふふ、いいんですよ。それだけ癒されてくれたということですから。

あ、これ…気になります？

耳かきを取りに行っている時に、お部屋で見つけまして。

このインテリア、水時計…というらしいですよ。

ほら………どうですか？すごく心地いい音ですよね。

涼しげな水の音が、ポコポコって。

湯上りで、少し体が火照っていると思うので。

この音を聞いて、涼みましようか。

……さあ、目を閉じて…海の中をイメージしてください。

その方が、もっとこの音を楽しめますよ。

……ほら。海に潜っているようで、不思議な感じがしますよね…。

魚みたいに、海の中を自由に泳げたら……

とっても気持ちいいんでしょうね。

ふう……。だいぶ涼しくなりましたね。

では、そろそろ耳かきをしましようか。

……もちろん、膝枕ですよ。

さあ、あなた。まずは左耳からしますので、反対の耳をお膝の上に……。

ん、ふう……。寝心地は大丈夫ですか？

……では、始めていきますね。

ん、ふう……。カリカリ……カリカリ……。

ん、は……。ん……。しょ。ん……。ん……。

ふう、耳かき、大好きでもんね。

私の前なんですから、お顔、蕩けちゃってもいいんですよ……。

気を張っていると、余計疲れちゃうじゃないですか。

……ふう、そうそう。

……え？別にだらしなくなんかないですよ。

それに、だらしないというより……可愛いので。

まあ、無理に意識しようとする、余計緊張しちゃいますから。

耳かきをしているうちに、すうーと力が抜けていって……楽になりますよ。

……そうです、普段通りのあなたで、大丈夫ですよ。

リラックスって、しようと思って、するものではなくて。

いつの間にか、自然としているものなんですから。

ん、ふう……。カリカリ、カリカリ……。

……。

ふふ、だいぶいいお顔になってきましたね…。

そのまま、身を委ねてください……。

……。

あ……ふふ。すみません、太ももが、その…少しくすぐったくて。

耳かきの最中は、なるべくじっとしていてくださいね。

ん、ふう……ん……。あ……ん、もう……わざとじゃないですよね？

……ほんとですかあ……？

膝枕でしたら、別に耳かきをしていない時でも、いいんですよ？

……ふふ。あなたのお願いですから、当たり前じゃないですか。

ゆっくり休みたい時……甘えたい時。

私の膝枕で良かったら、いつでもお貸ししますよ。

だから、今は動いちゃ、めっ……ですからね。

お耳の中は、デリケートなところなので。

……ふふ。いい子、ですね。

……あ、ごめんなさい、つい……。

でも、子供扱いされるの、嫌いじゃないですよね？

……なら、いいじゃないですか。

たまには、子供に戻って、甘えてみてください…。

どんなあなたでも、受け入れますから…。

…ふふ。いい子、いい子…。

……。

ん、ふう……。よしよし…。

ふふ。身体力行、すっかり抜けましたね…。

最初は、少し硬くなっていましたけど…今はもう、とろんって。

そのお顔……大好きです。

ん、はあ……。ん……ん……ふう。

左耳のお掃除、もうすぐ終わっちゃいますけど…反対側が残っていますから。

まだまだ、いーっぱい、甘えられますよ……。

ん、ふう……。ん……んう……。よしよし、いい子、いい子……ふふ。

ん、はあ……。カリカリ、カリカリ……。

ん、はあ……。はい、これでよし…と。

……あ、終わったのは、耳かきだけですよ。

とっておきの仕上げが、まだ残っています。

耳かきの、後ろのふわふわ…好きですよね？

……では、失礼して……。

ん、はあ……ふわふわ〜ふわふわ〜。

ふふ。くすぐったいのが、いいんですけどよね。

お耳の中で、ゆっくりくるくるさせますので……

梵天のふわふわ、ご堪能ください。

ふわふわ〜ふわふわ〜……。

ふわふわ、ふわふわあ……。

ん、ふう……。

それでは、最後に本当の仕上げを……。

ふふ。忘れちゃいましたか？

あなたの大好きな、こーれ。

ん、ふうふうふう——……。

ふふ。思い出したみたいですね。

前は、耳かきの前にやっちゃったので……

今回は、最後まで取っておいたんです。

あなたの大好きな、耳ふー。

……もつと、してほしいですか？

……ん、ふうふうふう——ふうふうふう……。ふふ。

お耳の奥、ゾクゾクしちゃってますね。

……ん、ふうふう——ふうふう——……。ふふ。

反対のお耳にもしてあげたいので、

頭の向き、ごろんって変えちゃってください。

今度は、右耳が上を向くように……。

ん……ありがとうございます。

それでは、こちらのお耳も綺麗に……。

……ん？ ふふ。本当に大好きなんですねぇ。

でも、お耳にふーってするのは、最後のお楽しみなので。

お掃除が終わるまで、我慢、ですよ。

ふふ。それでは、失礼しますね……。

ん、ふう……ん……んう……はあ。カリカリ……カリカリ……。

カリカリ、カリカリ……。

ん、ふう……。今日は、いろんなことがありましたね…。

楽しい時間は、本当にあつという間で……。

ん、はあ……。

その中でも、

このコテージに着いた時、とってもワクワクしたんです。

結婚する前、一緒に内見をした時みたいに……

あなたと一緒に過ごすイメージが湧いてきて。

ああ、楽しみだなあって。

……いつか、こんな別荘があっても、いいかもしれませんね…。

あくまで、夢のようなお話ですけど……。

疲れた時に、心を休ませる場所があれば……と。

……あ。ふふ。

いえ、その……もう、あるんです。

私にとって、あなたが……。

あなたにとって、私が……。

このコテージのように、心を休ませる居場所になれていたら。

……素敵、ですね…。

私は、まだまだ未熟ですけど……。

妻として、あなたを支えられるよう、努めますので…。

……ふふ。そんな。でも、もっともっと、あなたのお役に立ちたいので……。

これからもう満足いただけるよう……

私と、結婚して良かったって言ってもらえるように、頑張りますね。

ん、はあ……ん……。

と言っても、日々のお料理や、こうした耳かきとか、

小さなことばかりですけど。

それでも、そうした日々の小さな幸せを、

一緒に積み重ねていたらって、思っんです。

ん、はあ……ん、ふう……。

カリカリ、カリカリ……。

ん、ふう……。あなた……。せつかく、なので……。

今の気持ち、お伝えしてもいいですか……？

……じゃあ、遠慮なく……。

……好き。

ふう。いいじゃないですか。

こんなに、顔を近くに寄せて話すこと……あんまりないですし。

ただ、黙って耳かきをしていたら、

私が何を考えているか、分からないじゃないですか。

お顔も、見れないでしょうし……。

なので、今思っていることを、耳元でお伝えできればと。

……好き。すーき。……大好き。

お慕いしています……ふう。

まあ、耳かきの時だけじゃなくて、いつも想っていることですけどね。

……ん、はあ……好き。好きです。すーき。……大好きです。

ふふふ。お顔、真っ赤ですよ。

……なんて。私も、たぶん……頬が熱いので。

ん、はあ……。でも、好き。

大好きな人のお世話ができて、甘やかせて……

今、とっても満たされています♪

ん、はあ……。ん……。カリカリ、カリカリ……。

……。

ん、ふう……。もう少しで、こちらも……。ん……。ふう。

……。

はい。これでお終い。

最後は、また梵天で仕上げを……。

ん、ふう……。ん……。ふわふわあ。

ん……。ふわふわあ。

お耳、癒されますか？

……では、続けますね……。

ん、はあ……。

ん、はあ……。うん、こんな感じでしょうか。

それでは、お待ちかねの……。

ん、ふうふううう——

ふうふううう——ふうふううう——……っ。

ふふ。上手にできましたか？

……ありがとうございます♪じゃあ、もう一回だけ……。

ん、ふうふううう——……。

はい、これでお終いです。

……え？お耳、冷えちゃいますよ？

……じゃあ、温める感じで……ん……。

はあああ……。はあああ……。

ふうふううう——ふうふううううう——……。

……ん、ふふ。とっても満足そうな顔ですね。

お耳、どっちとも癒されましたか……？

……はあ、良かったあ。

では、また水時計の音を聞きながら、まったりと……。

……だって、耳かきが終わっても、膝枕に甘えていたいんですよ？

……ふふ。それでは、まだこのままで……。

■トラック6

あなた。ベッドに入る前に、軽く一杯…どうでしょうか？

せっかくの旅行ですし、少しくらいなら、と。

…ふう。では、お注ぎしますね。

…はい、どうぞ。

……え。あ、私は、その、飲みすぎてしまうかもしれませんし…。

……うう、そうですね。お誘いした私が飲まないというのも…。

分かりました。

それでは、ちょっとだけ…。

あ、私のは自分で…。……えっと、いいんですか？

じゃあ、お言葉に甘えて…。

……ふう、ありがとうございます。

では、今日の素晴らしい一日に、乾杯…。

んく、んく、んっ……はあ。あ、美味しいですねえ。

んく、んく…。うん、この日本酒、すっごく飲みやすいです…。

お酒なのに、パイナップルみたいにフルーティで…。

ああ、いけませんね、ゆっくり飲まないで。

はあ…。んく、んく…。ふう。

……ねえ、あなた？

今日の旅行、とっても楽しみにしていたんですよ…？

中々スケジュールが空かなくて……特急の案件も入ったりして…。

でも、あなたと一緒に、このコテージに泊るんだって、頑張ったんです。

一時期はどうなることかと思いましたが……

こうして、あなたと旅行に出かけられて、良かったです…♪

……んく、んく、はあ……。

……あれ？ お酒、進んでいますか？

遠慮なくていいんですよ？

これ、貰い物ですから。……んく、んく……ふう。

あ。そういえば、明日、運転があるんですけどね。

すみません、私、すっかり頭から抜けてて…。

……。確かに、チェックアウトは午後からですけど……。

無理、していませんか？

……でしたら、いいんですけど……。

んく、んくっ……ふう。

ほんとに、無理だけはしないでくださいね？

……そう、ですか？

でも、あなたはそうやって、いつも疲れてないとか、大丈夫とか、強がっちゃいますよね？

……あ、責めているわけではなくて。

あなたの、そういう優しいところが大好きで……。

ただ、お身体は大事ですし……。

自分一人で抱え込まないで、私のこと、頼ってほしいなあって。

あ、でも、もちろん日々頑張っているあなたの姿もカッコいいんですけど……。

あれ？ 今、なんの話をしているんですっけ……？

……ああ、そうでした。

すみません、明日は運転が控えているという話で……。

ただ、少しくらいなら、いいですよ。

まだ夜は長いですし、せっかくの旅行なんですから。

このくらいのお酒は……飲んだうちに、入らないかと。

ですよ、あなた……？

……ふふ、そうじゃなくては……。

あらっ？ もう酔っ払ってしまいました。

……ああ、ありがとうございます。

……んく、んく……んっ。ふう……美味しい……。

……ん？ 酔ってはいませんか？ まだ、全然です…。

飲み始めたばかりですし……

私、こう見えて、お酒には強いので……あなたも知っているでしょう？

……ん？ なんですかぁ、その反応。

私、すっごく酔っぱらったことなんてありませんよ？

少し体が火照ったり、ちよつとくらいくらつとしたことはありますが……。

……え、今は…平気ですよ？

酔ってたとしても、ほろ酔いくらいですから……心配いりません…♪

さ、あなたも飲みましょう？ ほろ、ちよつとしか入っていませんよ。

私もお……いただきます。

……んく、んく、んっ……はあ。

幸せえ……。

はあ……ふう……。

……んく？ あれえ、あなたあ？ こんな時に、スマホですかあ？

……えー。お仕事のお？ むう……。

あなたあ？ 今は、なんの時間ですかあ？

……そつですよねえ。私と楽しく、お酒を飲む時間でしょう…？

お仕事は楽しくないのに、スマホばかり見てえ……。

それ、もう禁止です。貸してください。

ん、しょ……うんしょ……っ。まあ、どうして意地悪するんですかあ。

私との時間なの……。もしかして、女の子じゃないですよねえ……？

……なら、見せてください。

……ん。んん？ えつとお……。

あ、ほんとだ……女の子じゃない……。

えへへ、良かったあ……。

もし相手が可愛い子だったら、私、どうしようかと…。

ごめんなさい……。

あなたのこと、疑っちゃうなんて……。ダメダメです……。

……ふえ？ 許して、くれるんですか？

……うう、ありがとうございます。あなた、大好きです……っ。

……えへへ。ぎゅーう。

……んー？ どうしたんですか？

ふふ、このくらいのスキンシップ、別にいいじゃないですかあ。

私は、妻なんですよ？ あなたにとって最愛の人……そうですよねえ？

でしたら、腕に抱きつくくらい、ね……？

……ふふ。ねーえ、あなた……。

私ばかりじゃなくて、あなたからも、してほしいです…。

……だからあ、スキンシップ。

私が何を求めているのか…言わないと分かりませんか？

……本当に、分からないんですか…？

……ふふ。私の口から言わせる気なんですね……。

もう、そういうことでしたら……はい。

……？ですから、はい。頭、撫でてください。

……あなた？ なでなで、ですよ？ もしかして、また意地悪ですかあ…？

むうう……。私、お世話だけじゃなくて……

甘えるのも、大好きなんですよ…。

だからあ、なでなでえ、してくれますよね？

……。ん。ああ…あなたの手、ほっとします……。んうっ♪

……え、あれ？ もうお終いなんですか？

一回だけじゃいやですよお……もっとお、なでなでしてください……。。

それくらいいいでしょう…？ ね…？

……あ。えへへ……。あなたのなでなで、大好きです……。

んう、ふああ……。最高お……。

……はああ。……はい？ そんなの、私が満足するまでですよお…？

いつになるかは、私も分かりませんが……ふふ。

ああ、なでなで……。まだしてほしいのに……。

え？ だからあ、酔ってませんってえ。

ほらあ、まだまだいけますよ……んく、んく……つ、はあ……。

あ、私のお酒え……。飲みたかったのに……ひつく。

うう……。なでなでも、まだ足りませんよ……。あなたあ……？

……。あ。ふふ……なるほどお、そーゆーことですかあ。

完璧に分かつちやいましたよ……つまりい、なでなでじゃなくてえ……。

ハグ、ですよねぇ？

……。ふふ。照れなくてもいいんですよ。

夫婦なんですから、ハグの一つや二つ、全然普通のことじゃないですかあ。

はい、どーぞあ。

いつでもいいんですよ……？

……。あなた？ ハグ、しないんですかあ……？

——あ。ふふ……嬉しい。

私、あなたに、ぎゅってされるの……とっても大好きなんです……。

遅しくて、がっしりしてるのに、優しく包み込まれる感じ……。

はあ、ずっとこうされたいです……。

私からも、ぎゅう。ふふ。

あったかい。ぽかぽかしますねえ……。

……。ふふ。ふふ。

ねえ、あなた……。あなたからも、好き……大好きって、言ってほしいなあ……。

私のこと、ぎゅううってしながら……ね？

……あれえ、言えないんですかあ……？

私は、言えますよお……？ すーき。好き好きい。

だーい好き、です……♪

あなたからも、たまには聞きたいなあ……。いいですよねえ？

……えー？

今、酔ってるとか、酔ってないとか、そんな話をしているんじゃないくてえ……。

私のこと、好きかって、聞いているんですけどお……？

ほら、どうなんですかあ。好きなのか、それとも、大好きなのか……。

ちゃんと言ってくれるまで、ぎゅううってしたまま、離しませんよお……？

……んー？ なんですかあ？ 目を見て言ってくださいあい。

……え。あ、愛してるは、えへへ……。プロポーズくらい、嬉しいです……♪

……あなた。私も、愛してまあす……。ふふ。

ああ……。今日はもう、ずーっとこうして、いちゃいちゃしてよっかなあ。

……えー？ まだ眠くないですよ……。お酒も残っていますしい……。

うう……。もつとあなたと一緒にいたいですう……。

……。そんなに寝かしつけたいんですかあ？

……だつたら……。だっこ、してほしいです。

あなたの男らしいところ、見てみたいなあ……。

……ひゃ。

わ、お姫様だっこお……。えへへ。あなた、かっこいい……。好き……。

……。ああ。あなた……。私のこと、置いていつちゃうんですかあ……？

ベッドまで来たんですからあ、一緒に、寝ましょうよ……。寂しいですう。

夫婦らしく、添い寝……。してくれますよねえ……？

……。あ。ふふ……。一緒お……。

あなたあ……。もつと近くがいいですう……。

……。ん。ぎゅーう。

ふふ。あつたかあい……。

……。すう……。すう……。すう……。ふふ……。作戦、大成功……。です……。

すう……。すう……。んー？ あれ、なんか言っちゃいましたあ……？

……。えへへ。秘密ですよあ？

……。ほら、ここ「最近、お互い色々忙しかったじゃないですかあ……。

お家にいると、作業ばかりしちゃうから……。

仕事場から離れて、自然に囲まれた場所で、一息つきたいなあって……。

特に、あなたは毎日大変そうで……。

この機会に、疲れを癒してあげられたら……って。

ほんとは、それだけじゃなくて……。

お世話しながら、いちゃいちゃも、できたらなあ……とか。

こっそり甘えたりも……えへへ。

夢、たくさん叶っちゃいました……。

すう……すう……すう……すう……すう……。

ああ……あなたあ……好き……。大好き……です……。

すう……すう……すう……すう……。

あなた……お休みなさい。

……ん、ちゅっ。……いふ。

すう……すう……すう……すう……。

(END)

■特典シナリオ

■酔い ver.

(1)

乾杯♪んく、んく……はあ。

ふふ、今日はいい夜ですね…。

あなたと二人で、こんなに美味しいお酒が飲めるなんて…。

……あ、でも、明日に残らないように、程々にしておきましょうね。

(2)

あら、お酒が減っていますよ。注いで差し上げますね。

夜はまだ長いですから……焦らず、ゆっくりと……

この時間を楽しみましょう。

(3)

ふう……。お酒って、不思議ですよね…。

心がふわふわ軽くなって、つい口が軽くなってしまいます。

……あなた。好き、ですよ。

ふふ。急にすみません。からかっているわけではなくて……

今、そう伝えたくなったんです。

何かきっかけがないと、好きって言えないだなんて、寂しいじゃないですか……。本当なら、ずーっと言いたいくらいです。大好きって。

■ほろ酔い ver.

(1)

あなたあ？ またお仕事ですかあ？

スマホばかり見ていないで、私にもかまってほしいです……。

せっかく、二人きりの夜なのに……。

(2)

あ……私のこと、やっと見てくれましたねえ。

ふふ。そうです、それでいいんです。

私だけを、ずっとその綺麗な目に映してほしい……。

なんて、漫画の台詞ですよ。

……ちなみに、私は、あなただけを見つめていますよ？

ほーら。じいいい。ふふふ。

(3)

ねーえ、あなたあ。もっといちゃいちゃしましょっぴお。

頭、なでなでしてほしいです……。

ん……えへへ。あなたの手、優しい……好き。

……ああ、もうお終いなんですかあ？ もっとお願いしますっ。

私だって、あなたに甘えたい夜もあるんですよ……？

■泥酔 ver.

(1)

あれえ、お酒…もうなくなっちゃったんですかあ？

……ふふ、そんなあ、酔ってなんかいませんよあ。

そんなことより、どうして、あなたが二人いるんでしょう……？

どっちともかつこいい……えへへ。

(2)

えー、もう夜なんですかあ。

でもお、まだ全然眠くないですよあ。

どうしてもっていうなら……だっこして、ベッドまで連れて行ってほしいです。

ねーえ、あなたあ……だっこあ。

(3)

…えへへ。添い寝なんて、久しぶりですねえ。

ふふ、あなたのお顔が、こんなに近くに……。

ああ、もつと、ずーつと見ていたいの……あれ、瞼が重くなって……。

すう……すう……すう……あなた……大好き、です……。

すう……すう……すう……すう……すう……すう……。